

令和5年度の新型コロナワクチン接種について

令和5年度のワクチン接種の国の方針ほか

【法的位置づけ】

特例臨時接種を1年間延長（令和6年3月末まで） → 令和4年度に引き続き自己負担なしで接種が可能

【令和5年度に実施する追加接種の目的、対象者、接種スケジュール】

- (1) 目的：重症者となる者の低減（重症化予防）
- (2) スケジュールほか

	春開始接種	秋開始接種 ※詳細は国において検討中
期 間	令和5年5月8日～8月末	令和5年9月～12月
対 象	・65歳以上の高齢者 ・5歳以上65歳未満で基礎疾患がある方 - もしくは重症化リスクが高いと医師が認める者 ・医療機関や介護、障害者施設等に従事する者等	・追加接種が可能な5歳以上のすべての者
使用ワクチン	・オミクロン株対応ワクチン ・ノババックス（12歳以上のみ）	今後の検討により決定

【令和4年秋開始のオミクロン株対応ワクチンの接種可能時期】

○令和4年秋に開始した1回目のオミクロン株対応ワクチンの接種は **5月7日で終了**

（5歳以上11歳以下の小児のオミクロン株対応ワクチンの1回目接種は除く）

→ 65歳未満の春開始接種の対象とならない方で、**オミクロン株対応ワクチンの接種を希望する方は 早めの接種をお願いします**

小児（5歳以上11歳以下）のオミクロン株対応ワクチン接種について

接種対象者及び使用するワクチン

○小児（5歳から11歳）で初回（1, 2回目）接種または、追加接種から3か月以上経過した者を対象に、ファイザー社製小児用オミクロン株対応ワクチンを1回接種

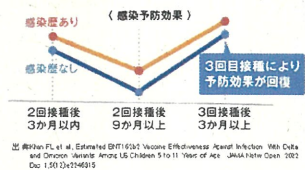
効果及び安全性

【効果】

○従来型ワクチンの追加接種に係る知見だが、新型コロナの感染の有無に関係なく、従来型ワクチンの3回目接種後3～5か月経過後の感染予防効果は50～60%程度が認められている

【安全性】

○小児用オミクロン株対応ワクチンの接種による発熱は約19%、疲労感は約30%等の報告があり、重い有害事象とされた事例はまれで、接種後の死亡や心筋炎と報告されたものはなし（米国での実績に基づく）



接種券について

○令和5年3月10日時点において、従来型ワクチンによる初回又は3回目接種から3か月以上経過した者約2,300名に対し、**令和5年3月20日に接種券を発送**

※以降、初回接種または従来型による追加接種から3か月経過後に順次接種券を送付

○初回接種後送付された3回目用の接種券が手元にあれば、その接種券も使用可能

接種開始時期・接種医療機関

○予約及び接種は **3月23日（木）** から、体制の整った医療機関から順次開始

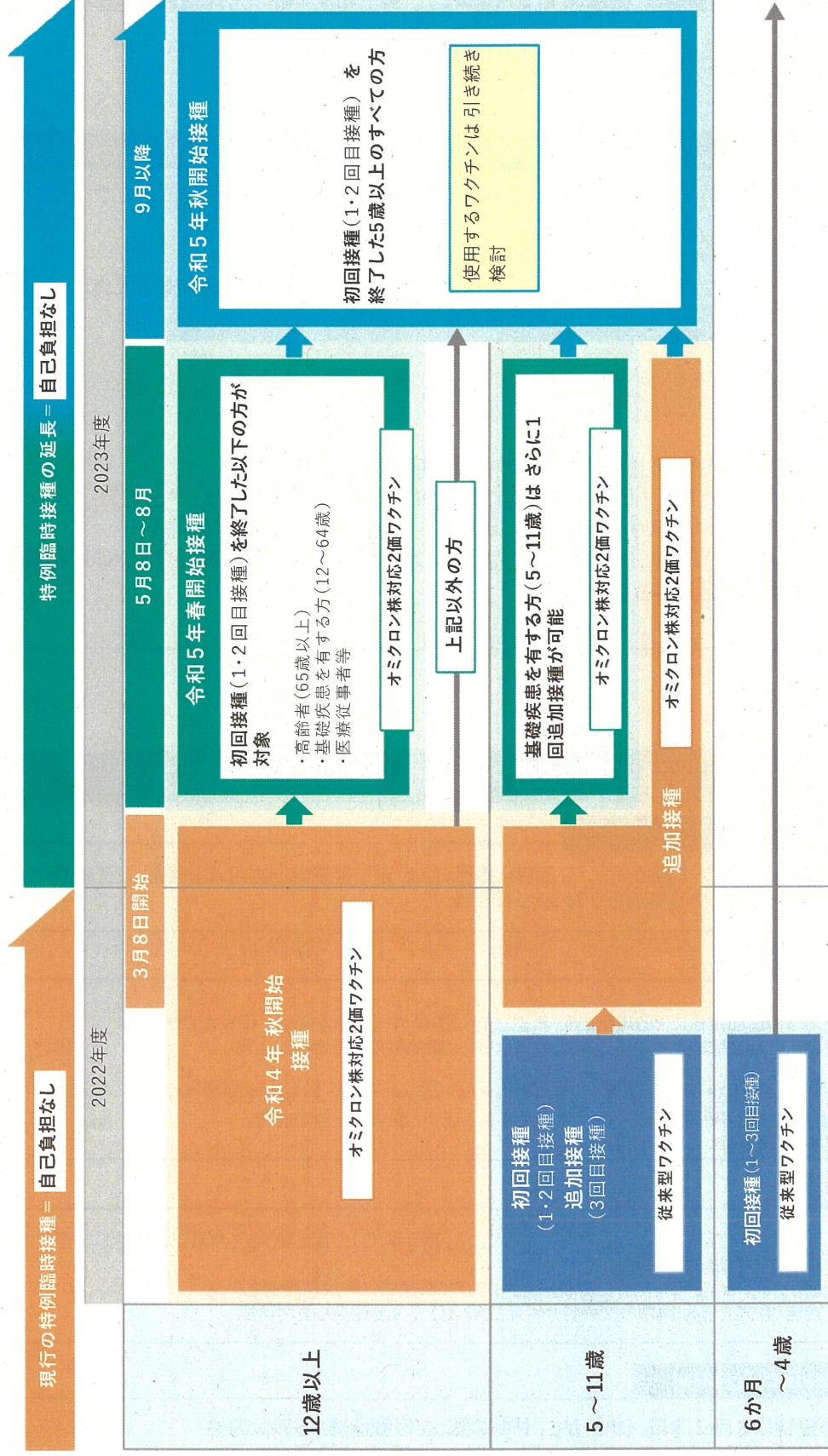
※予約は県共通予約システム（インターネット予約）もしくは各医療機関へ直接

※コールセンター（0120-780-910）では、インターネット予約代行を実施（インターネット予約を利用の医療機関のみ）

○接種医療機関：約90の医療機関で実施予定
接種可能な医療機関は3月15日更新のホームページに掲載

令和5年度の新型コロナワクチン接種について（参考）

■ 令和5年度における新型コロナワクチンの接種のイメージ



（※）3月8日以降は追加接種にはオミクロン株対応2価ワクチンを用いることになります。